

避難指示で必ず避難

5月20日から警戒レベルおよび避難情報が変更されています。
避難勧告は廃止となり、警戒レベル4「避難指示」が発令された場合は必ず避難しましょう。

警戒レベル	状況	新たな避難情報など	これまでの避難情報など
5	災害発生または切迫	緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
警戒レベル4までに必ず避難			○避難指示(緊急) ○避難勧告
4	災害のおそれが高い	避難指示 ※2	避難準備・高齢者等避難開始
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 ※3	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)
1	今後の気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	

- ※1 市が災害の状況を確実に把握できるものではないため、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者以外の人なども必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。「警戒レベル5 緊急安全確保」が発令される前に安全を確保しましょう。

避難勧告は廃止されます。これからは、「警戒レベル4 避難指示」が発令された時点で、危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、「警戒レベル3 高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。

災害に関する情報は平戸市防災メールで確認

緊急時は警戒レベルや大雨時の降水量などを随時発信します。平時は行政情報などをお知らせしています。
右のQRコードを読み取るか、URL(防災ホームページ)から登録しておきましょう。

○URL <http://www.bousai.city.hirado.nagasaki.jp/mail/index.html>



知ることから始めよう 災害から命を守るために

これからの季節、大雨や台風などによって災害のリスクが高まります。ハザードマップで自宅の近くにどんな危険が潜んでいるのか確認し、万が一の災害に備えましょう。

問 総務課危機管理班 ☎22-9101

ハザードマップで危険を確認
平戸市では、ハザードマップを作成し、全世帯に配布しています。ハザードマップには、被災想定区域や避難場所、防災関係施設の位置などを表示した地図はもちろん、土砂災害、水害など災害ごとの注意点や気象情報の見方なども掲載しています。自宅周辺や職場、通勤・通学ルートにどのような危険が潜んでいるのか確認しましょう。

また、ハザードマップには災害時に持ち出す非常持出袋のチェックリストなども掲載しています。「備えあれば憂いなし」、万が一の災害に備え準備しておきましょう。

4つの避難行動
災害の危険が差し迫った状況で、どこにどのように避難するかすぐに判断できますか。市が開示する避難所に行くことだけが避難ではありません。避難先として、安全な親戚・知人宅やホテルなどの宿泊施設、自宅での安全確保も頭に入れておく必要があります。下記の4つの行動を参考に、自分ならどこに避難するか考えてみましょう。

避難場所と4つの行動



ハザードマップをチェック

- ▼自宅などのある場所で指定されている、土砂災害警戒区域・ため池浸水想定区域・津波災害警戒区域など
- ▼避難場所の位置、自宅から避難場所へ向かう経路、避難経路中の危険箇所
- ▼災害時に危険と思われる箇所(河川より低い道路、防護柵のない水路など)

